

メールシステム

1. 概要

メールシステムは Gmail (Google Workspace for Education) を既定のメールサービス¹として提供している。

クラウドサービスの障害対策として本学宛に届いたメールはリレーサーバを通じて全て双方 (Gmail, Exchange Online) のサービスに配信される。

スパム対策を含むメールセキュリティについても、それぞれのクラウド機能を用いているほか、メール内のリンクなどもファイアウォールのサンドボックス機能にて解析検知を行っている。

2. 利用状況

電子メールの年間配送状況を図1～2に示す。

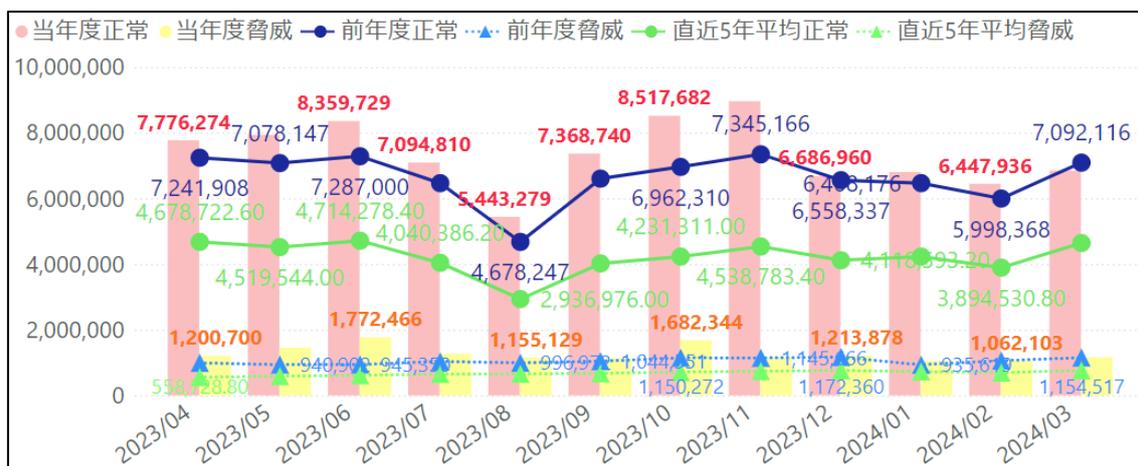


図1：2023年度年間メール受信総数

¹ Microsoft 365 Apps For Education のメールサービスは準備中。提供時期は未定。

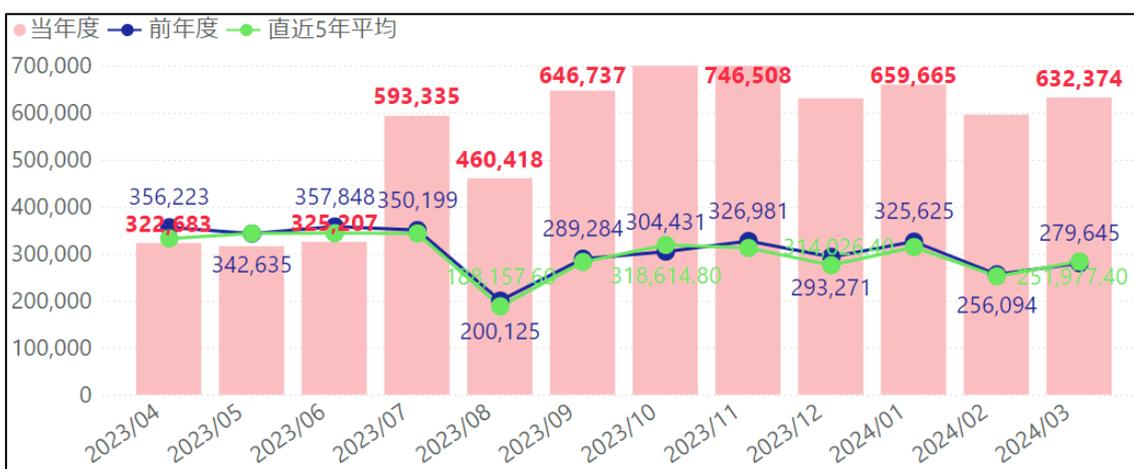


図 2 : 2023 年度年間メール送信総数

3. 2023 年度のまとめ

Gmail の SPAM 対策機能により一部 False Negative としてユーザに届いてしまう不正なメールは存在するが、別途フィッシング対策などで対応している。

また、学内のメールサーバやクラウドサービスから送信されるメールについて、SPF の対策は実施していたが、rikkyo.ac.jp・rikkyo.ne.jp を名乗るスパムメールの対策として DKIM/DMARC 対策を実施し強化を行った。

メール送信件数については7月度より急増しており、2021年度より継続している Emotet やフィッシングメール等スパムメールの総数が増えてきているとみられる。そのため前年度に引き続き利用者個人の設定やメーリングリストから転送されるメールにて、宛先などから大学のメールサーバが SPAM 送信先として指定される状況の頻度が上がっている。